

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 自然環境課	笹淵 紘平
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	⑤ 地域振興のための自然資源の活用	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	64,274

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
人々の価値観の変化やニーズの多様化が進む中、国立公園やジオパーク等の地域の豊かな自然をより深く理解・体験し楽しむことを通じて、少しでも長く滞在し何度も訪れたいくなるような滞在環境の魅力が向上する取組を推進します。		i) 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進 ii) 国立公園雲仙の滞在環境上質化 iii) 国立公園とジオパーク等の連携							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	自然資源を活用した利用環境整備箇所数(累計)	目標値①	2箇所	4箇所	6箇所	8箇所	10箇所	10箇所(R7)	
		実績値②	—	0箇所					
	達成率②/①		0%					遅れ	
雲仙の滞在環境の魅力を向上させるため歩道等の再整備を実施する予定だったが、令和3年8月の豪雨により雲仙温泉地区の八万地獄上部斜面(県有地)が崩壊したため、復興対策を優先させる必要が生じたことにより、予定していた工事2箇所について設計までしか実施できなかった。									

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画					R4目標			
事業実施の根拠法令等			事業対象									
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 ii iii	○	1	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業	112	92	10,171	国立公園雲仙の利用拠点である雲仙温泉地域の滞在環境の上質化及びインバウンド対策として歩道等の設計を行うとともに、災害対策として調査及び工法検討を実施。令和4年度は八万地獄復興対策を実施。	【活動指標】	—	—	—	●事業の成果 ・令和2年度繰越事業で受入環境の整備を実施。 ・豪雨災害により、当初予算を一部復興対策に振り替えたため、予定していた工事2箇所については設計のみ実施。 ●事業群の目標達成への寄与 地元の調整を適切に進め設計を完了させ、今後の事業推進へつなげた。
				64,274	4,136	14,801		2	0	0%		
				134,153	1,677	12,290		—				
			自然公園法						【成果指標】	—	—	
R2-6							雲仙天草国立公園(雲仙地域)の利用者数(千人)	2,192	1,226	55%		
自然環境課	—	—	○	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者			2,208					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年度の繰越事業である多言語解説板及びトイレ洋式化の工事を完了した。ポストコロナを見込んだ更なる受入環境の整備が必要。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 市が策定した観光戦略を推進するために定期的にワーキング会議が実施され、県もこの場に参加し、議論しながら地域のニーズをくみ取り、施策に反映させていく。</p>
<p>ii 国立公園雲仙の滞在環境上質化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 周辺資源を活用するため、綱笠山の歩道とおしどりの池広場の整備を実施する予定であったが、8月に災害が発生し、その対応が必要であったため、設計までの実施となった。今後は災害復旧を優先して事業を実施するが、単なる復旧ではなく創造的復興を図っていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 おしどりの池広場については、令和4年度に繰越事業として工事を実施する。八万地獄の災害復旧を早急に実施するとともに、関係機関と連携して創造的な復興に取り組んでいく。</p>
<p>iii 国立公園とジオパーク等の連携</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 国立公園内のジオサイトにジオパークのロゴ入り多言語解説板(R2繰越)を整備した。地域が進めるコンテンツと連動した受入環境整備を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 ワーキング会議等により地元のニーズを把握し、受入環境の整備を図っていく。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」と、見直しが無い場合は「一」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i ii iii	○	1	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業 R2-6 自然環境課	令和3年8月の大雨により被災した八万地獄の早期復興を図るため、事業内容を八万地獄の復興対策事業に特化した。※令和4年度は事業名を「国立公園雲仙八万地獄復興対策事業費」へ変更	⑤⑧	観光客や地域住民の安全性を確保し、地域が創造的復興に取り組んでいけるように、引き続き関係機関と連携を図りながら着実に対策事業を進める。	改善

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点